

い誤譯や、不十分な點が多い。

自分は、原文と比較して讀んで見たが、第一章中にも、上記の Tidel wave のほかに、下の如き點が見つかった：—

第4～5頁 晴雨計と氣壓計としては如何？

第5頁 Atmospheric meteorological tide は大氣の潮汐でなく、大氣の氣象潮汐

第5頁 固體狀及びを固體狀でとし、熔融狀乃至はを熔融狀でとすべきである。

第6頁 天文學的の思索は空想とするが宜い。

第6頁第8行 ……見るであらう。でなしに、單に ……見る。で宜い。

第7頁第8行 正確は精密である。第9頁第1行にもある。

第7頁第12行 不注意なでなくて、最も不注意なである。

第8頁第2行 經驗にでなく實際經驗に。

〃第8行 必要にでなくて非常に必要に。

第12頁第19行 スケールを變へてでなくてスケールを縮少して。

第13頁下より第5行 圓筒から取外したでなくて圓筒から擴げた。

第14頁第13行 制限されでなくて地形によつて制限され。

第15頁第10行 餘り現はれないでなくて餘りうるさくない。

第16頁第1行 小さなでなくてちよいとした。

第22頁第9行 Vaucher は、パウチェルでなくて、ヴァシェ

以下略するが、大體この調子で、誤譯もあり、又、原文にない不必要な語もある。——原文は敢てて名文ではないが、一種の達文で、愉快に讀ませられる書物である。譯文も、何とかして今少し達文であつてほしかつた。(山本)

新十字星の發見

ペガソス座に美しい十字星があります。今から二ヶ月程前に氣がついたのですが、實に均整のとれた美しいものです。星は南十字星のやうに四つで、しかも四つとも白鳥座のやうに光度は強くありませんが、形はこの方が良いと思います。星名は、十字の頭が β 星、横木の右が η 星、左が μ 星、足が ι 星です。この中でも、 β 星が頭にあつて光度が強いので良い眺めです。この十字は私はまだ星の本で讀んだことがありませんが、そんなに有名なのではないのでせうか？ 誰か、この星の事を御存知かと思ひますが、あまり普及して居ないのでしたら、南の南十字星と、エセの十字星が並んでゐる如く、白鳥の北十字星のそばに、これがあることを書いて下さい。このやうな種類の事は、もう星座を卒業された人にも大へん興味のあることと存じます。

11月25日

神戸 長谷川 一郎

ヨ本曰く。大變面白いです。只、惜しいのは、この十字星の光度が一般に弱いことです。